

第8回風工学シンポジウム（構造物の耐風性に関するシンポジウム）開催案内

〔共催〕日本学術会議構造研究連絡委員会耐風構造分科会、電気学会、土木学会、日本気象学会、日本建築学会、日本鋼構造協会、日本風工学会（幹事学会）

「第8回風工学シンポジウム（構造物の耐風性に関するシンポジウム）」を関連学協会共催のもとで開催し、国内の研究者ならびに技術者の研鑽と交流および研究情報交換と併せて相互の親睦をはかることとなりました。つきましては会員各位には下記要領によりふるってご参加下さるようご案内致します。

開催期日 昭和59年12月6日（木）、7日（金）の2日間

会場 気象庁講堂（東京都千代田区大手町 1-3-4、TEL. 03-212-8341、地下鉄東西線 竹橋下車 徒歩3分）

参加費 5,000円（論文集代を含む）

定員 300名

参加申込要領

(1) 申込方法：右記参加申込書式を参考に必要事項を明記し参加費を添えて下記宛お申し込み下さい。

なお、参加券は論文集に同封し11月中旬に送付します。

(2) 申込期限：昭和59年10月31日（水）17：00

(3) 申込先：〒160 東京都新宿区西新宿 8-20-4
日本風工学会「第8回風工学シンポジウム」係

(4) その他

(a) シンポジウム論文集は11月上旬に刊行の予定です。

(b) 原則として参加申し込みの取り消しがありますが、参加費の払い戻しはいたしませんのでご了承下さい。

(c) 締切期日前でも定員になり次第、申し込みを締め切りますのでなるべく早めにお申し込み下さい

懇親会

下記により懇親会を開催致しますので、参加ご希望の方はシンポジウム参加申し込み時にお申し込み下さい。

(a) 日時：昭和59年12月6日（木）（第1日目シンポジウム終了直後）

(b) 会場：気象庁（予定）

(c) 会費：3,000円

なお、会費は当日会場受付にてお支払い下さい。

第8回風工学シンポジウム参加申込書式

所属学協会名		氏名
勤務先・職名		TEL.
論文集送付先	〒	TEL.
懇親会 (○で囲む)	参加	不参加

プログラム

第1日 12月6日（木）

9：00～9：05 開会の辞<第8回風工学シンポジウム
運営委員会> 委員長 伊藤 学

9：05～10：25 司会 村上周三（東京大学・生研）

(a) 自然風の性質

(1) 長時間吹送時の海上風の性質
内藤玄一（防災科学技術センター）

(2) 海上風の空間構造の研究
○藤谷徳之助 花房龍男（気象研究所）

(3) 大阪北港における自然風の諸特性について
小松定夫 小林紘士
○川谷充郎（大阪大学）、亀井正博

(4) 風の鉛直成分の特性について
○花房龍男 藤谷徳之助（気象研究所）

(5) 強風時における乱れのスケールおよび乱れの強さの鉛直方向分布特性について

○足立一雄（日本鉄塔工業）
前田潤滋 牧野 稔

(6) 山岳地における風の乱れの空間分布について(2)
光田 寧 ○塚本 修（京都大学）

—休憩15分—

10：40～11：45 司会 藤谷徳之助（気象研究所）

(a) 自然風の性質

(1) S・G・S モデルによる丘陵地周辺の乱流解析
藤本盛久 大熊武司
○田村哲郎（清水建設）

(2) 複雑な地形上における乱流統計量の分布について（風洞実験）

○加藤真規子 花房龍男

久郷直樹（気象研究所）

- (3) 地表面粗度の年変化を考慮した年最大風速値の均質化について

○田村幸雄（東京工芸大学）

須田健一 松井源吾

- (4) 成因別強風の地形因子解析とモデル台風による要因解析

宮田利雄

○谷 雅史（横浜国立大学）

- (5) 西日本各地の台風による強風特性

白石成人 松本 勝

○長尾文明（徳島大学）

一休憩60分—

一昼 食—

12:45~13:50 司会 田村幸雄（東京工芸大学）

(g) 計測方法・風洞実験法

- (1) 係留気球による市街地風の観察

○片山忠久（九州大学） 西田 勝

石井昭夫 堤純一郎 田島啓治

- (2) 風洞閉塞効果が箱型建物模型の風圧実験に及ぼす影響とその補正について

藤井邦雄

○上田 宏（清水建設・技研）

- (3) 風洞模型実験における変動圧力測定法に関する研究—導圧管を用いる変動圧力測定システムの周波数応答特性について—

村上周三

○加藤信介（東京大学・生研）

森山修治

- (4) 地表面粗度の違いによる境界層気流性状の変化に関する風洞実験

石崎潑雄, 桂 順治 谷池義人

○丸山 敬（京都大学・防災研）

- (5) 風洞実験における周辺市街地の模型化に関する研究

○丸川比佐夫（神奈川大学）

大熊武司 小林啓人 吉田正昭

13:50~14:45 司会 坂本雄吉（電力中央研究所）

(b) 環境と自然風 (c) 強風災害

- (1) 新宿新都心地域の風

—高層ビル群における風の性状—

眞田早敏 川口彰久 吉田正昭

○角田素男（熊谷組・技研）

- (2) 大規模土木工事による風環境変化の予測とその対策について

宇都宮英彦 長尾文明

○吉村 哲（徳島大学）

- (3) 福岡市における海陸風

○堤純一郎（九州大学）

片山忠久 石井昭夫 西田 勝

- (4) 樹木の防風効果に関する研究

—実物の樹木を用いた風洞実験並びに樹木の模型化に関する検討—

村上周三 ○出口清孝（法政大学）

高橋岳生

—休憩15分—

15:00~16:20 司会 藤井邦雄（清水建設・技研）

- (d) 風圧・空気力および構造物周りの流れ

- (1) 低ライズケーブル補強空気膜構造の力学性状に関する実験的研究

—風圧力の性状と風荷重時の静力学特性について—

○深尾康三（竹中工務店・技研）

岩佐義輝 又木義浩 岡田 卓

- (2) 球形空気膜構造に関する風洞実験

○中山昌尚（フジタ工業・技研）

石井一夫 鈴木俊男

- (3) 大スパン構造物の屋根面に加わる風圧力の機構に関する考察

○川村純夫（大阪市立大学）

木本英爾 木内龍彦 田代伸一郎

- (4) 円形屋根面に作用する風圧力に関する風洞実験

○本郷 剛（鹿島建設・技研）

吉田正邦

- (5) 太陽熱温水器に作用する風力の観測

岡田 恒（建築研究所）

- (6) 三次元数値解析による建築物の周辺気流および風圧力の検討

吉川秀雄 多田和美

○岩井益澄（構造計画研究所）

—休憩5分—

16:25~17:15 司会 伊藤 学

特別講演 Dr. Prem Krishna

Prof. University of Roorkee

17:30~19:30 懇親会

第2日 12月7日(金)

8:45~9:50 司会 神田 順(東京大学)

(e) 風による建造物の応答

- (1) 高層建築物の風向直角方向振動の加速度推定に関する研究

藤本盛久 大熊武司 鈴木雅靖
○加藤玲子(日本IBM)

- (2) 高層ビルの風による応答加速度の性状に関する実験的研究

藤本盛久 大熊武司 赤木久真
○鈴木雅靖(鹿島建設・技研)

- (3) 高層建築物の風直角方向振動について

松本武雄(金沢工業大学)

- (4) 36m法塔の風による振動に関する風洞実験

○片桐純治(風工学研究所)
大熊武司 丸川比佐夫

- (5) 通信用鉄塔の風による振動性状の検討

—応答予測について—

○平松和嗣(日本電信電話公社)
赤木久真

9:50~10:55 司会 桂 順治(京都大学・防災研)

(e) 風による建造物の応答

- (1) 一方向型吊屋根構造の耐風性状

—初期張力による効果—

川村純夫

○木本英爾(大阪市立大学)

- (2) 一方向型吊屋根の剝離流フラッタについて

○三宅昭春(有明工業高専) 吉村 健
森下正浩 平山智良 園田東二

- (3) 8字型断面を有する架空通信ケーブルのギャロッピング振動

○藤野陽三(東京大学)
山口宏樹 伊藤 学

- (4) サイロのような寸法比をもつ薄肉円筒建造物の風によるオバリング振動

桂 重樹(帯広畜産大学)

- (5) 風荷重を受ける薄肉円筒建造物の変形並びに座屈性状

○植松 康(東北大学)
内山和夫 丸山 栄

—休憩10分—

11:05~12:40 司会 宮田利雄(横浜国立大学)

(d) 風圧・空気力および建造物周りの流れ

- (1) 高レイノルズ数における円柱空気特性に及ぼす乱れの影響

中村泰治

○小園茂彦(九州大学・応力研)
渡辺公彦

- (2) 矩形断面柱空気特性に及ぼす乱れの影響

○中村泰治(九州大学・応力研)
大屋裕二 渡辺公彦

- (3) 変動流中における充腹断面の空気力に関する基礎的研究

○岡南博夫(大阪府立工業高専)
白石成人 松本 勝

- (4) 非定常流れの中での矩形断面の流れのパターンと空気特性について

○松本 勝(京都大学)
チャールス・ナイスリー
フリードリッヒ・メナーハ

- (5) 非粘性渦点モデルによる角柱まわりの流れの数値解析(Ⅱ)—実験との比較—

○溝田武人(九州大学・応力研)
岡島 厚

- (6) 2本直列柱の空気応答特性とその発生機構に関する基礎的研究

白石成人 松本 勝

○白土博通(京都大学)

- (7) 一様流中に置かれた並列2構造物に働く流体力

○岡島 厚(九州大学・応力研)
杉谷賢一郎 溝田武人

—休憩60分—

13:40~14:35 司会 横山功一(土木研究所)

(e) 風による建造物の応答 (f) 耐風設計

- (1) 偏平H形断面柱の非定常表面圧力分布特性

○久保喜延(九州工業大学)
加藤九州男 宮地真一

- (2) 各種矩形断面のフラッタ時の圧力分布特性

白石成人 松本 勝 白土博通
北川雅章○平出純一(京都大学)

- (3) 耐風性を考慮した長大箱桁橋梁の桁形状選定に関する実験的研究

○宮崎正男(住友重機械工業)
古高利彦 伊藤 学

- (4) Bluff な箱桁の渦励振に関する一実験

○藤澤伸光(日本鋼管・中央研)

1984年9月

園部好洋

14:35~15:30 司会 松本 勝(京都大学)

- (d) 風圧・空気力および構造物周りの風の流れ
 (e) 風による構造物の応答

(1) 非定常圧力特性から見た箱桁橋の渦励振制振対策の安定化効果

○宮田利雄(横浜国立大学)

山田 均 風間浩二 藤澤伸光

(2) 偏平構造断面柱の渦励振の数学モデルについて

○吉村 健(九州産業大学)

坂田正二 三宅昭春 小川富士夫

(3) 充腹断面の空力不安定現象に関する風洞実験における2, 3の考察

宇都宮英彦 長尾文明

○畠山圭司(徳島大学)

(4) 充腹断面の空力減衰に関する一考察

○小川一志(川崎重工業)

酒井洋典 松田一俊

一休憩10分—

15:40~17:00 司会 藤澤伸光(日本鋼管・中央研)

- (e) 風による構造物の応答 (f) 耐風設計

(1) 橋梁桁部, 主塔の空力特性と防振対策について
 白石成人 松本 勝 白土博通

○尾上義博(京都大学)

(2) ラーメン形式主塔の渦励振とその空力制振対策に関する基礎的研究

○武内隆文(住友重機械工業)

白石成人 松本 勝

(3) 乱流中における吊橋主塔の耐風安定性について
 成井 信 小川一志

○松田一俊(川崎重工業)

(4) サイドプレートの吊橋主塔制振効果に関する実験的考察

○井上浩男(三井造船・昭島研)

虫明英彦 平野廣和 池ノ内昌弘

(5) 渦励振の発生確率の迎角の変動を考慮した算法について

小松定夫○小林紘士(立命館大学)

川谷充郎 松川昭夫

(6) 名港西大橋の塔の動吸振器方式耐風制振装置

川人達男 辻 松雄

○加納 勇(日本鋼管・中央研)

津村直宜

閉会の辞 日本気象学会(次回幹事学会)

第23回国際地震学・地球内部物理学協会 (IASPEI) 総会について

標記の総会が、1985年8月19日~30日に、東京都新宿区京王プラザホテルに於て、地震学会と日本学会会議の共催の下に開かれます。現時点で予定されているシンポジウムとしては

1. Earthquake Hazard Assessment and Prediction
2. Seismological Theory and Practice
3. Structure and Composition of Active Margins in the Far East
4. Thermal Aspects of Tectonics
5. Polar Geophysics
6. Deep Structure of Oceanic Lithosphere as Determined by Ocean Bottom Seismographs
7. Mechanics of Earthquake Faulting
8. Strong Ground Motion
9. Discontinuities in the Earth's Structure in

Terms of Material Properties

10. Transport Phenomena in Relation to Structure of the Earth
11. Wave Propagation in Real Media
12. Reports on Recent Earthquakes
13. Seismological Instrumentation and Data Analysis in Developing Countries

等があります。

1st Circular は

〒107 東京都港区赤坂 8-5-32

赤坂山勝ビル内

株式会社 インターグループ気付

第23回国際地震学・地球内部物理学協会運営委員会

宛に要求すれば入手できます。